

教科横断型授業「数学」×「家庭科」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」				
実社会での課題	誰もが希望する進路を実現したいと願うが、経済状況により教育の機会が制限される子どもたちが存在している。子どもの進路実現のために、教育ローンや奨学金等を利用する家庭も多いが、それには利子を伴う返済があることが課題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	卒業後の自己実現を図るためには、資金計画を立てることも重要になる。特に進学希望の場合は、入学時の準備に多くの費用が発生する。教育ローンや奨学金を利用する場合の返済方法による利子や返済総額の計算を行うことで、借入を行うことの影響を理解させ、資金計画の重要性に気付かせたい。				
主題(教材)	新生活にかかる費用とその資金計画				
指導過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導 入	○本文の内容を確認する。	5	○家庭科の時間に行っていた入学時の準備に必要な費用の復習をさせる。	家庭科学習ノート
	展 開	1 入学時に必要な学費を調べる。	10	○インターネットで志望校の情報を検索させ、金額をワークシートに記入させる。	タブレット ワークシート パワーポイント
		2 教育ローンの仕組みを学び、借入れ金額や返済期間の違いによる利子や返済額の違いを計算する。	20	○エクセルに指数・対数を使った計算式を入力させる。 ○借入金額や返済期間によって返済額に差が出ることを確認させる。	
		3 人生における資金計画の重要性について学ぶ。	10	○結婚資金、子どもの教育資金、マイホーム資金、老後の資金など、人生の様々なライフイベントにおいては、資金の面でも備えが必要なことに気付かせる。 ○どのように備えていきたいか、考えさせる。	
整 理	○学習内容を確認する。	5	○学習内容が理解できたか確認させる。		
備 考	2年カレッジコースA講座10名(男子5名、女子5名)				